

■西安事件

p 232

○中国国民党と中国共産党

- ・違い…中国共産党 1921 創立 コミンテルン中国支部中国共産党 陳独秀・毛沢東
中国国民党 1919 創立 資本家（ブルジョワジー）の政党 孫文・蒋介石
- ・共通性…①一党独裁政党 国家の上に党がある
②ソ連の援助を受け、その影響下にある

○国共合作と国共内戦

- ・中国国民党 1919・1920 カラハン宣言（ソ連の外務人民委員のカラハンが不平等条約解消を宣言）→孫文「連ソ・容共」路線を採用…東アジア史の大転換
1924.12 全国代表大会で「連ソ・容共・扶助工農」の方針を決定
- ・第一次国共合作 1924～1927 共産党員が個人として国民党に加入（加入戦術）
1925 孫文死去→蒋介石 北伐 1926～1928（p 228）
1927.4 蒋介石、上海クーデター決行 共産党員を大量に虐殺
→7.13 共産党、国共合作終了を宣言
- ・国共内戦 1927～1937 蒋介石「安内攘外」
崩壊寸前の共産党→コミンテルンの方針転換 の効果
1935 反ファシズム統一戦線戦術 p 232 ②日本はなぜ中国と戦いを？
1936.12 西安事件 張学良が蒋介石を軟禁、抗日を約束させる
- ・第二次国共合作 1937～1945
1937.8 国共合作成立
- ・国共内戦 1945～1949 中華人民共和国（共産党政権）成立

■日中戦争の始まり

p 232

○盧溝橋事件を起こした犯人は誰か

- ・盧溝橋事件の勃発 7.7 深夜の発砲事件
<3つの可能性>
 - ア) 日本軍侵略説
 - イ) 偶発説
 - ウ) 中国共産党（コミンテルン）謀略説

○盧溝橋事件で「日本軍侵略説」が成り立たない4つの根拠

- ①中国に日本の軍隊がいたことが侵略ではないか、という説について
- ②中国と日本の兵力比はどうだったか
- ③軍事演習を行うことは挑発だったのか
- ④当日の日本軍の装備はどうだったか

○「中国共産党（コミンテルン）謀略説」の証明

- ・延安の中国共産党から出された声明・・・「7・8 通電」の書き出し

7月7日夜10時、日本は盧溝橋に於いて中国の駐屯軍馬治安部隊に対し攻撃を開始し、馬部隊に対し長辛店への撤退を要求した。

- <問題点>
- ① 10時→10時40分 発砲は中国側から
 - ② 日本軍の反撃は8日の午前5時半
 - ③ 翌日、8日の日中にこの声明を出すことは不可能→予定原稿
 - ④ 深夜、北京大学構内と思われる通信所から延安に、「成功了！」と3回打電したのを天津の日本軍情報班が傍受していた。（産経 1994.9.8 夕刊）

○通州事件の経過 1937.7.29

- ・午前0時 反乱部隊行動開始 城門を閉鎖、電話線を切断して外部との連絡を遮断
- ・午前3時 日本軍守備隊（残留120人）を襲って制圧（死者32人）
- ・特務機関全滅 細木繁特務機関長、保安隊を指導する立場の日本軍要人をすべて殺害
- ・日本人の住む家屋はことごとく襲撃
- ・虐待場面には支那人居住者が現場を取り囲んで多数見物 誰一人保安隊兵士の蛮行を制止する者無し 日本人を群衆の目の前で全裸にし、撲殺、強姦、陰部刺突、眼球抉り取り、四肢切断、内蔵引き出しなどの天人ともに赦さざる猟奇の蛮行を繰り広げた。
- ・処刑場では集団銃殺
- ・日本旅館 女性多数が強姦・陵辱・惨殺され血の海となった。

○佐々木テンの証言 8つの場面

- ① 15～16歳くらいの娘を襲い、助けようとした父を銃剣で撲殺、陰部抉り取り
- ② 十数名の日本人男子を手に針金を通して数珠繋ぎにして虐殺
- ③ 2人の女性を引き出し、陵辱して殺害

- ④路上で念仏を唱えて事切れた老婆
- ⑤木刀で抵抗した妊婦の夫の頭皮を剥ぎ、目玉を抉り取り、腸を切り刻む
- ⑥7～8ヶ月の妊婦の腹を割き、胎児を掴み出して踏みつける
- ⑦50人以上の日本人を集団で銃殺、日本人は「大日本帝国万歳」を叫ぶ
- ⑧40～50人の日本人を近水楼の池で虐殺、池を真っ赤に染める

○死者数 天津警察署通州分署の公式記録

死者 居留民 225人 内地人 114人 (生存者 94人)
朝鮮人 111人 (生存者 129人)

○資料

⑧ 松井・秦徳純停戦協定（一九三七七年七月十一日）

①第二十九軍の代表者は、日本軍に対して遺憾の意を表したうえで、責任者を処分し、そして「今後このような事件が起こらないよう防止する」と声明する。
②中国の軍隊が、日本の駐屯軍に接近しすぎているから、こういうことが起こるわけだから、盧溝橋周辺からは立ち退き、治安維持は保安隊に任せることにする。
③今回の事件は、藍衣社（蔣介石軍の情報機関）や中国共産党の暗躍と密接な関係があるので、今後はそうした組織の取り締まりに力を入れる。

⑨ コミンテルン指令（興亜院政務部、一九三九年）

- ①あくまで局地戦を避け、日支の全面衝突に導かねばならない。
- ②右目的貫徹のため、あらゆる手段を利用すべく、局地解決や日本への譲歩によって支那の解放運動を裏切る要人を抹殺してもよい。
- ③下層民衆階層に工作し、彼らに行動を起こさせ、国民政府として戦争開始のやむなきにたち到らしめねばならない。
- ④党（中国共産党・藤岡注）は対日ボイコットを全支那に拡大し、日本を援助する第三国に対してはボイコットをもって威嚇せよ。
- ⑤紅軍は国民政府軍と協力する一方、バルチザンの行動に出なければならぬ。
- ⑥党は国民政府軍下級幹部、下士官、兵並に大衆を獲得し、国民党を凌駕する党勢に達しなければならない。

○日中戦争（支那事変）の始まり

*戦争を望んだのはどちらか、侵略したのはどちらか…基本的な問い

- ・上海の租界にいた民間日本人 3万
- ・それを守る日本軍 海軍陸戦隊 2200 応援部隊を入れて 4000
- ・包囲する蒋介石軍 5万 トーチカ 2万箇所 ドイツの軍事指導を受ける
- ・8.13 中国軍が攻撃…上海事変（中国側の侵略）
- ・8.14 上海の租界地区を爆撃 ホテルやデパートを狙って爆弾を投下 3600人の死傷者
キャセイ・ホテルでエドウィン・ライシャワーの兄、ロバート・ライシャワーも死亡
「日本軍がやった」と宣伝
→海軍陸戦隊は10倍以上の敵に対し、2週間持ちこたえる英雄的な戦い
- ・9.9 日本人居留民保護のため陸軍を動員
- ・11.10 上海戦に日本軍が勝利 4万1000の死傷者（日露戦争以来の損害）
→南京へ追撃戦 12.3 南京占領

○南京事件を捏造した国民党と米宣教師団

- ・上海事変（第二次）で日本軍に戦いを挑むも敗北→軍事での敗北を情報戦で取り戻す
「宣伝は作戦に優先する」
- ・蒋介石は国民党中央宣伝部に国際宣伝処を設置 南京陥落の1ヶ月前から活動開始
- ・曾虚白国際宣伝処長「われわれは目下の国際宣伝においては中国人みずから決して前面に出るべきではなく、われわれの抗戦の真相と政策を理解してくれる国際友人を探し出して、われわれの代弁者となってもらふこと」（『自伝』）
- ・ベイツ…金陵大学（英語名は南京大学）教授 実は国民党顧問
「ベイツ・メモ」を作成し、5人の外国人記者に渡す
- ・ティンパーリ（田伯烈）『戦争とは何か』をロンドンで出版

○プロパガンダ写真の捏造

（A）オリジナル

- ・「野良仕事から帰る村人の写真」を慰安婦強制連行の写真に「捏造」
「アサヒグラフ」のキャプション：我が兵士に護られて野良仕事より部落へかへる日の丸部落の女子供の群（十月十四日 龍崎特派員撮影）

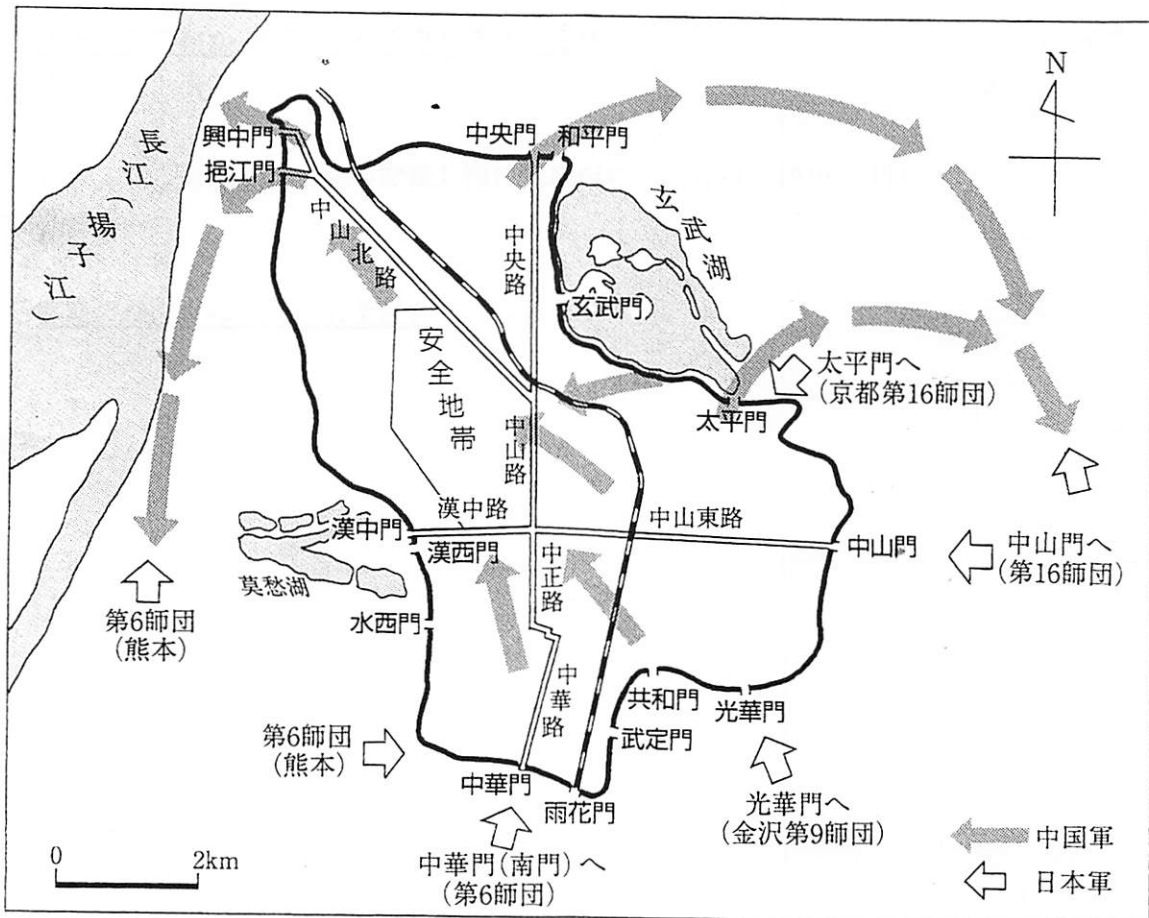
（B）中国国民党による捏造

- ・中国国民党軍事委員会政治部『日寇暴行実録』：江南農村の婦女子が、一団また一団と押送され侵略者日本軍の司令部に連れ去られた。陵辱！ 輪姦！ 槍殺！

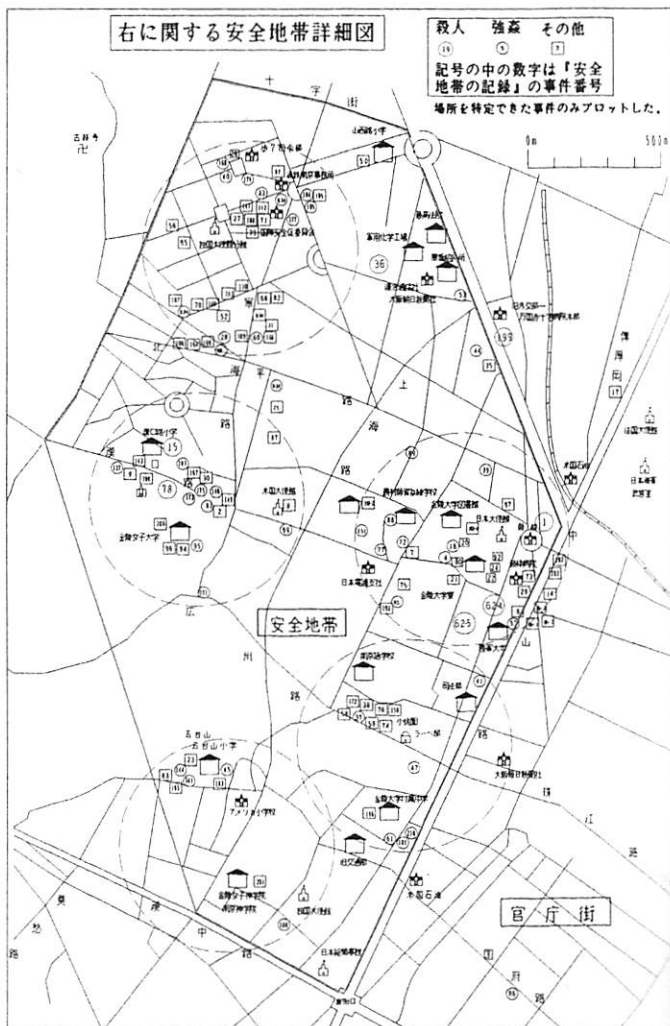
（C）日本の反日学者・ジャーナリストが引用

- ・本多勝一『中国の日本軍』：婦女子を狩り集めて連れて行く日本兵 強姦や輪姦は7歳の幼女から70歳の老婆まで及んだ。→2014週刊新潮が誤りを指摘→本多「中国側の調査・証明に基づく」と居直る
- ・笠原十九司『南京事件』第Ⅲ章のトビラ：日本兵に拉致される江南地方の女性たち
→1998 秦郁彦が指摘→謝罪して差し替え
- ・アイリス・チャン『ザ・レイプ・オブ南京』（1997）：何千という女性が追い立てられた。

日本軍の攻撃および中国軍の退路図



（東中野修司曰南京事件証状（写真）を模写する）



（岡澤敏夫曰南京事件の核心図）

○米・中の資料から証明される南京事件の虚構

<資料 1> 南京占領後の人口数の推移

南京の人口と安全地帯への集中の記事一覧

(『南京安全地帯の記録』に現われるもの)

事件番号	発生日	記事の頁順24件 摘要	人数	報告者
17.4.9	37/12/17	日本兵の秩序の回復が無ければ、20万人の支那住民に餓死が出る、と委員会。	200,000	ラーベ
18.1.10	37/12/18	国際委員会は20万人の面倒をみようとしている、と委員会。	200,000	ラーベ
20.2.10	37/12/18	委員会22人で中国人20万人を養い保護する事はできない、と委員会。	200,000	ラーベ
48.12.20	37/12/21	南京市民20万人の為に……。	200,000	委員全員
49.3.20	37/12/21	委員会が20万人を養う食糧の備蓄は1週間分しかない。	200,000	委員全員
57.12.6	37/12/27	市民20万人を養う為に……。	200,000	ラーベ
84.1.41	38/01/14	市の人口は25万人から30万：日本軍が登記した市民は16万、これには10歳以下の子供と或る地区の婦人が含まれず、と委員会。	250,000	ラーベ
87.1.43	38/01/17	25万人の需要を満たすには1日1000袋の米が必要だ、と委員会。	250,000	ラーベ
90.2.46	38/01/18	ポイントン宛：25万の住民に対し、在廠は豊富なのに食糧の放出が少ない。	250,000	フィッチ
90.5.46	38/01/18	25万人に対する米の放出は少なかった。	250,000	フィッチ
90.6.47	38/01/19	25万の市民を養うと言うことは……。	250,000	ラーベ
93.1.47	38/01/19	25万人の住民の通常の1日平均の必要食糧は、1600袋の米。	250,000	ラーベ
95.1.49	38/01/22	委員会はこの市の中国市民25万の福祉救済委員会だ。	250,000	
96.2.49	38/01/22	難民25万人の……。	250,000	

97.1.49	38/01/22	25万人を養うには1日1600袋の米が必要、と委員会。	250,000	
112.1.54	38/01/28	南京の難民25万。	250,000	ラーベ
112.3.54	38/01/28	英大使館員宛：25万難民の……。	250,000	ラーベ
112.7.54	38/01/28	市および近郊の広範な火災で25万住民の大部分はホームレス。	250,000	ラーベ
164.1.68	38/02/10	委員会のメモ：人口25万の為に1日1600袋の米が必要。	250,000	スマイス
15.1.9	37/12/13	日本軍が入城したときまでに、委員会は市民のほぼ全部を1つの安全地帯に集めていた、と委員会。	以下人口の集中	ラーベ
96.3.49	38/01/22	難民25万人の90%ほどは区内にいる。残りが区外の自己の家に帰った。		
96.6.49	38/01/22	委員会のメモ：難民25万のほぼ90%は安全区にいる。		
114.2.55	38/01/30	安全区の断絶状態が緊張を招いている。		ラーベ
165.1.68	38/02/10	委員会のメモ：区内には未だ16万の人が居ると日本の登録数字は言う。		スマイス

(事件番号 17.4.9は原文頁・枝番・文書番号を示している)

この表はつぎの重要なことを推論させるものである。

- 1 人口数が最大二十五万であったから、大虐殺論者の言う三十万人の虐殺はあり得ないこと。
- 2 人口が一月末頃まで少しも減少していないのであるから、三十万はおろか目に立つような殺人件数も考えられないこと。
- 3 人口が安全地帯に集中していたのであるから、「南京事件」はあったとしてもその舞台は安全地帯であったということ。

(富澤繁行氏「南京安全地帯の記録」完訳と解説)

<資料 2> 『南京安全区の記録』国民党政府の公式文書 (1939 年刊)

- ・全件数 517 件
- ・殺人事件 26 件 そのうち目撃証言 1 件

その1件には、「合法的処刑」と注記

	南 京 事 件	通 州 事 件
自由社		(コラム) 通州事件 北京東方の城壁都市・通州には 親日的な地方政権がありました。1937 (昭和12) 年7月29日、日本の駐屯軍不在の間に、その政権の中国人部隊 (保安隊) が反乱を起こしました。青竜刀と銃剣で武装した3000人の兵士が、何の罪もない日本人居留民を、残虐な方法で殺害しました。日本人居留民421人のうち子供や女性を含む225人が犠牲となりました。あるアメリカ人ジャーナリストは、「古代から現代までを見渡して最悪の集団殺人として歴史に記録されるだろう」と書きました。これを通州事件といいます。 事件の首謀者は、1年以上も前から国民党軍の示唆を受けていたと書いています (張慶余「冀東保安隊通県反正始末記」)。その目的は、日本人を怒らせ、戦争に引きずり込むことでした。
育鵬社	(「日本軍は12月に首都南京を占領しました」の注) このとき、日本軍によって、中国の軍民に多数の死傷者が出た (南京事件)。この事件の犠牲者数などの実態については、さまざまな見解があり、今日でも論争が続いている。	
山川出版社	(「日中戦争」の注) この際、日本軍は女性や子どもなどの一般の人々や捕虜をふくむ多数の中国人を殺害した (南京事件)。	
東京書籍	日本軍は、1937年末に首都の南京を占領し、その過程で女性や子どもなど一般の人々や捕虜を含む多数の中国人を殺害しました。(注) この事件は「南京大虐殺」とも呼ばれます。被害者の数については、さまざまな調査や研究が行われていますが、いまだ確定していません。	
帝国書院	南京では、兵士だけではなく多くの民間人が殺害されました (南京事件)。(注) この事件は、諸外国から非難されましたが、戦争が終わるまで、日本国民に知らされませんでした。死者数を含めた全体像については、調査や研究が続いています。	
教育出版	12月に占領した首都の南京では、捕虜や住民を巻き込んで多数の死傷者を出しました。(注) このできごと (南京事件) は、戦後の極東国際軍事裁判 (東京裁判) で明らかにされました。犠牲者の数については、さまざまな説があります。	
日本文教出版	日本軍は、各地で激しい抵抗にあいながらも戦線を広げ、12月に占領した首都南京では、捕虜のほか、女性や子どもを含む多数の住民を殺害しました (南京事件)。(注) 当時、この事件は国民に知らされませんでした。戦後、極東国際軍事裁判に当時の調査資料が提出され、その後の研究で、部隊や将兵の日記にもさまざまな殺害の事例が記されていることがわかりました。ただし、知られていない殺害がどれだけあるか、全体像をどうとらえればよいのかなど、さらに研究が必要な部分もあります。	

④ 中国の小学生用教科書

中国軍の抗戦

日本侵略軍は北平、天津を占領すると、中国に全面攻撃を始めた。日本軍は、至る所で人民を惨殺し、財物を略奪し、婦女を強姦し、家屋を焼き払った。

1937年8月13日、日本軍は上海を大規模に攻撃し、中国軍は奮起して抵抗した。国民政府は前後して40余万の軍隊を集中して参戦し、3カ月の激戦によって、日本侵略軍に甚大な打撃を与えた。その後、日本軍は南京を占領して、残忍非道な南京大虐殺を行った。

読んでみよう

日本軍は南京を占領すると、なんと公然と5週間にもわたる血なまぐさい大虐殺を行った。日本侵略軍は中国の兵士と民衆を縛りあげ、機銃掃射し、生き埋めにさえし、さらに南京城内で人を殺して楽しみ、殺人競争を行った。南京大虐殺では、30余万の中国人民が無残に殺戮された。日本侵略軍は中国で極悪非道の罪を犯した。



日本軍が南京の青年を惨殺する

④ 多文化の中学生用教科書(文科省検定済)

日本軍は12月、南京を占領しました。このとき、国際法に反して大量の捕虜を殺害し、老人・女性・子どもをふくむ多数の市民を暴行・殺害しました(南京事件)。日本では、南京占領を祝う行事が盛大に行われました。

南京市に住んでいた夏淑琴(当時8歳)の話

昼近くに銃剣を持った日本兵が家に侵入してきました。逃げようとした父は撃たれ、母と乳飲み児だった妹も殺されました。祖父と祖母はピストルで、15歳と13歳だった姉は暴行されて殺されました。私と4歳の妹は、こわくて泣き叫びました。銃剣で3カ所刺されて、私は気を失いました。気がついたとき、妹は母を呼びながら泣いていました。家族が殺されてしまった家で、何日間も妹と二人で過ごしました。

(一部要約)〈笠原十九司「体験者27人が語る南京事件」より〉

大人が学ぶ <誇りを持てる日本の歴史> 学習会 ワークシート
【22限目】 大東亜会議とアジア諸国 p 240 - 241
令和5年2月11日

■アジアに広がる独立への希望

p240

○ p 241 ④ アジアの人々を奮い立たせた日本の行動

○ p 241 ⑤ 日本を解放軍として迎えたインドネシアの人々

○インド国民軍の結成

■大東亜会議

p240

○ p 240 ①大東亜会議の出席者たち

○ p 240 ③大東亜会議におけるアジア諸国代表の発言

○ p 240 ②大東亜共同宣言

■アジア諸国と日本

p240

○ p 241 ⑥インドネシア独立戦争に加わった日本兵

■<コラム・外の目から見た日本> 大東亜戦争とアジアの独立

p 248

- ・独立への希望と犠牲
- ・インドの独立と日本軍
- ・「17-8-05」とスティルマン将軍像
- ・アジアの目で見た大東亜戦争

★「日本は謝罪を必要とすることなどしていない」外国人が語る真実 (youtube 動画)

* 3 年前アップ、172 万回視聴、2024 件のコメント (2023.2.10 現在)

youtube チャンネル「世界が称賛する日本」(チャンネル登録者 16.4 万人)

【課題】最も心に響いた言葉を 3 つ以内で選んでみよう。(キーワードをメモすること)

発言者・肩書き 印象に残った言葉	
1) ウ・ヌー ビルマ首相	18) インドネシアの教科書
2) T.クーマン タイ副首相	19) チャンドラ・ボース インド独立運動家
3) バ・モウ ビルマ首相	20) マウント・バッテン 英印軍総司令
4) プラモード タイ首相	21) インパール作戦慰霊碑のある村の村長
5) ダグラス・マッカーサー GHQ 総司令官	22) H.G.ウェルズ SF 作家
6) ローガン弁護士 東京裁判被告側	23) G.シャフエー マレーシア外相
7) F.リール弁護士 東京裁判弁護側	24) 1948 年タイ戦時債務交渉
8) A.トインビー イギリス歴史家	25) ブン・トモ インドネシア元情報相
9) ヘレン・ミアーズ アメリカ歴史家	26) ラダ・ビノード・パル インド法律家
10) ネール インド初代首相	27) アラムシャ インドネシア陸軍中将
11) C.ウィロビー GHQ 参謀部長	28) ジャヤワルデネ スリランカ大統領
12) O.ラティモア 中華民国顧問	29) 崔慶祿 (최경록) 元韓国軍参謀総長
13) G.デサイ インド弁護士会会長	30) カリモフ ウズベキスタン大統領
14) G.シャフエー マレーシア外相	31) 金満哲 評論家
15) コー・チョクトン シンガポール首相	32) 許文龍 台湾実業家
16) シャル・トゴール 仏第 18 代大統領	33) ASEAN インドネシア代表
17) オン・サン ビルマ独立の父	34) 李登輝 台湾総統